

町制施行40周年 記念式典

平成12年10月1日



(人光り、輝け21世紀のみかんと草枕の里)



記念事業次第

記念碑除幕式 AM8:30～（げんやま展望公園）

- 1 開式の辞
 - 1 記念碑除幕
 - 1 碑文朗読
 - 1 町長式辞
 - 1 町議会議長挨拶
 - 1 閉式の辞
-

記念式典 AM9:30～（天水町立小天小学校体育館） (21世紀に向けて)

- 1 開式の辞
- 1 国歌斉唱
- 1 町民物故者に対して黙とう
- 1 町長式辞
- 1 町議会議長挨拶
- 1 町政功労者表彰
- 1 小中学生のイラスト作文表彰
- 1 謝辞
- 1 来賓祝辞
- 1 来賓紹介
- 1 祝電披露
(休憩)
- 1 中学生コーラス
- 1 作文優秀者のスピーチ
- 1 スライド上映
- 1 パネルトーク
- 1 万歳三唱
- 1 閉式の辞



町制施行 40周年にあたって

天水町長 吉田 勝也

町制施行40周年を、西暦2000年、ミレニアムの記念すべき節目の年に迎えました。

本日の記念式典を多数の御来賓各位のご臨席を賜り、町民の皆様とともに迎える事ができますことは、このうえもない慶びであります。

私たちの天水町は、昭和29年10月1日小天村と玉水村が合併し、天水村が新生発足いたしました。その後待望の町制が施行されたのは、昭和35年10年1日、今年は、それから40年ということになります。

おかげをもちまして、先人が築き上げられた文化や歴史、産業、豊かな自然を受け継ぎ、現在「みかんと草枕の里づくり事業」を推進中であり、その一環として「夏目漱石」来町100年に当たる平成9年に「草枕温泉てんすい」がオープンしました。みかん畠の中腹に位置し景観の雄大さなどで大変な賑わいを見せており、町づくりと天水町のイメージアップに大きな成果をあげていますのも皆様方のご支援、ご協力の賜物であります。心からなる感謝と御礼を申し上げます。

先人の努力に報いて、げんやま展望公園に建立した記念碑の除幕式を先刻挙行し、本日は、これまで、幾多の災害を克服してこられた、先人の復興努力を後世に伝え、住みよい町づくりを目指し、心新たに共に手を握り、来るべき21世紀に向かい力強い一步を踏み出すため、「人」(人光り、輝け21世紀のみかんと草枕の里)をテーマに町制施行40周年記念式典を行います。

終わりに臨み、来賓各位の御健勝と御繁栄を心からお祈り申し上げますとともに、今後より一層の御指導、御鞭撻を賜りますよう重ねてお願い申し上げます。

町民の皆様のご健康とご多幸を心から祈念申し上げ、ご挨拶と致します。

平成12年10月1日

来賓名簿

(敬称略・順不同)

熊本県知事 潮谷 義子	菊水町長 前淵 治
県議会議員 島津 勇典	三加和町長 池上 緑良
県議会議員 島田 幸弘	南関町長 大石 駿四郎
熊本県総務部長 宮本 慶二	長洲町長 橋本 孝明
熊本県市町村課長 緒方 好秋	玉名市議会議長 中川 潤一
玉名地域振興局長 土森 武典	荒尾市議会議長 橋本 正義
玉名地域振興局次長(総務部長) 加久 正和	郡議長会会長(長洲町議会議長) 松野 司
玉名地域振興局振興調整室長 佐藤 幸男	岱明町議会議長 杉村 勝吉
玉名地域振興局保健福祉環境部長 尾方 克巳	横島町議会議長 前田 正直
玉名地域振興局農林水産部長 徳永 邦雄	玉東町議会議長 菅本 義勝
玉名地域振興局土木部長 茂田 勇誠	菊水町議会議長 庄山 精治
玉名教育事務所長 水上 清	三加和町議会議長 松尾 友則
玉名市長 高畠 哲哉	南関町議会議長 中嶋 孝行
荒尾市長 北野 典爾	玉名警察署長 中原 憲一
郡町村会会長(玉東町長) 稲村 純雄	有明広域行政事務組合代表理事 北野 典爾
岱明町長 松倉 秀美	有明広域行政事務組合消防本部 消防長 朝岡 宣昭
横島町長 立野 興一	玉名農業協同組合代表理事 組合長 城戸 剛

町政功労被表彰者名

(敬称略・順不同)

自治功労者

松本 次廣	中山孝之助	立川 多門	西川トメ子
小島 典之	坂本 憲治	石本 正	杉山 容子
吉川 潔	島岡 則道	宮田 範之	荒木 直光
下田 良介	吉田 廣明	中村 光盛	亀丸 紘一
(故)石川 勉	森本 和侍	畠岡 正利	大村 敏行
川田良之介	氏家 正則	西上 繁信	岩永 憲雄
坂本 照	亀丸 國昭	前川 勇	

教育功労者

坂門 盛男

選挙功労者

立川 多門
高峰 三郎

特別功労者

志水賢二郎	中村 隆光	井本 秀文
小山 弘則	亀丸 紘一	村上 隆之
井出 公夫	亀丸 國昭	品川源太郎
池田 近好	山本 弘憲	藤川 貴臣
平野 政治	石川 弘憲	尾田 地区 (団体表彰)

パネルトーク

「人」(人光り、輝け21世紀のみかんと草枕の里)

コーディネーター

●前田芳男氏

経歴

(財)熊本開発研究センター 主任研究員

昭和61年熊本大学大学院工学研究科修了、(株)地域計画研究所等を経て平成7年4月から現職

主な調査研究

さいたま新都心商業成立可能性調査(H3)住民参加型まちづくり方策研究(H7~8)熊本駅周辺地区町並みまちづくり総合計画策定調査(H9)

助言者

●松尾浩司氏

経歴

天水町政策審議員

平成3年東京農工大学大学院農学研究科修了、平成3年4月農林水産省に入省、構造改善局計画部地域計画課企画班企画係長等を経て平成11年4月から現職

パネラー

●奥村美奈子氏

経歴

農業

地域婦人会本部役員、生活改善グループ会員、公民館運営審議員等を経て、現在、花工房てんすい会員、草枕温泉青空市場振興会会員、活性化塾加工部会員、社会教育委員として活躍中

●中山信春氏

経歴

会社役員

昭和52年佐賀大学農学部卒業、派米農業研究生(サンキスト農場)2年間等を経て現在、町防犯指導員、土地改良事業コンサルタントとして活躍中

●横田敦子氏

経歴

主婦(ピアノ講師)

子どもにやさしい町づくり協議会会长、玉水小PTA母親部長、天水中PTA副会長等を経て現在、花工房てんすい会員、体育指導委員、夢ステージ10会員、輝く女性づくり協議会副会長として活躍中

●藤川貴臣氏

経歴

農業

平成元年静岡大学農学部卒業、県農協青壯年部米国農業研修、4Hクラブ会員、青年団長等を経て、現在、果樹研究同志会員、体育指導委員、青年農業士会員として活躍中

主な受賞歴

第39回熊本県農業コンクール大会新人王部門秀賞(農林水産大臣賞)、平成10年度熊本県果樹共進会優秀賞(農林水産省農産園芸局長賞)

MEMO

天水町民憲章

私たちは情緒豊かな、みかんと草枕の里を築き上げた先人の偉業と伝統を受け継ぎ、ふるさと天水町の限りなき繁栄をねがって、ここに町民憲章を制定します。(平成2年)

1. 豊かな自然の恵みに感謝し、
自由で平和な町をつくります。

1. いのちの尊さを大切にし、
健康で明るい町をつくります。

1. 自主、自立の精神を養い、
人権を尊重する町をつくります。

1. 互いに信じ、協力し合い、
生産に励み、住みよい町をつくります。

1. 歴史と搖るぎない伝統を重んじ、
文化の香り漂う美しい町をつくります。

山口白陽
作編曲詩
出山田憲二

天水町々歌

山口白陽
作編曲詩
出山田憲二

天水みかん踊り

一、縁なし 平野の中に

山なみは 青くそばだち

海原は 白くよこたう

こゝぞ吾が 産土の町

天水 天水 われら讃えん

(前奏) 一、海は有明 茜に染めて
あかね
明ける二の岳 三の岳

こゝは天水 みかんの名所

山にや黄金の 花も咲く

二、人みな やすらぐところ

玉水の 泉さやかに

小天の湯 涌きてつきせず

こゝぞ吾が 父母の町

天水 天水 われら誇らん

(間奏) 二、峠こゆれば 丘から丘へ
見ゆる限りは みかん山
小天・玉水 二つの里を
一つ心に 結ぶ道

三、吹く風も 黄金の色に

新地には 稲穂波うち

山々は みかん輝く

こゝぞ吾が 栄えゆく町

天水 天水 われら築かん

(前奏) 三、昔恋しい 那古井のいで湯
おじやれ小天の 草枕
まぶたつぶれば 湯霧の中に
うかぶ姿の お那美さん

(前奏) 四、名さえ天水 わき出てやまず
つきぬ流れは 尾田の川
九十九曲り 曲ろどまゝよ
稲穂恵みの さゝ波に

(間奏) 五、今日も青空 天水日和
唄がわき立つ みかん山
みかん摘む娘は 十五か七か
十九か二十か 顔みたや

(前奏) 六、肌はなめらか 香りは豊か
酸いも甘いも ほどほどに
忘れられよか 天水みかん
味が身に沁む 胸に沁む

T E N S U I



町 章

てんすいの「て」を変形し、
図案化したもので、みかん
を基幹として、将来へ向つ
て飛躍、前進する町の姿を
象徴する。尚、円形はみか
んと人の和を、そして上部
はみかんの葉と方向啓示を
現わす。



夏目漱石

明治の文豪夏目漱石は在熊中、小天温泉を訪れ「山道を登りながら…」の一節で知られる名作『草枕』の舞台としました。

物語ゆかりの道は、今も昔ながらの情緒をたたえ、桃源郷の観を呈しています。



町花(みかんの花)



町木(桜)

笠 智衆

天水町の名誉町民

“日本のおじいさん”笠智衆氏は生誕の地天水町の名誉町民であり記念碑や笠智衆祭も親しまれています。



尾田の丸池

九十九曲がりの清流・尾田川の水源で、熊本名水百選の一つ。



尾田の丸池